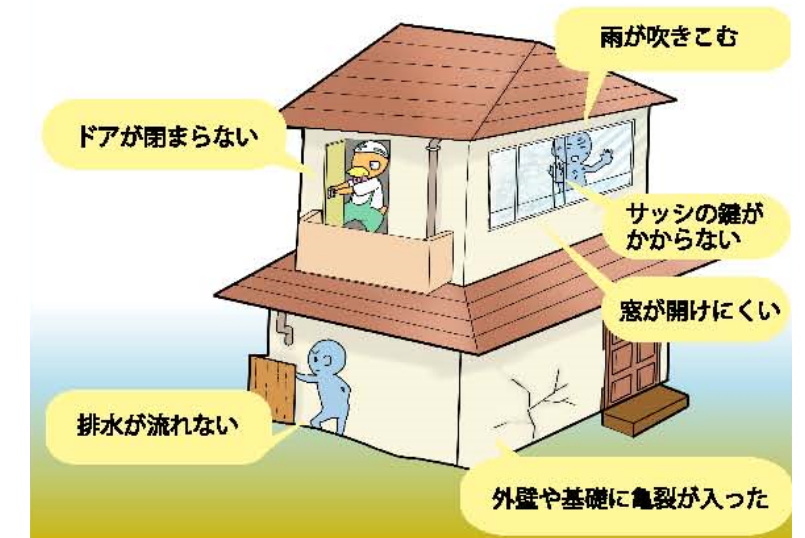


不同沈下のおそろしさ

不同沈下とは、地盤が均等に沈下せず、建築した建物全体が傾斜している状態のことを指します。地盤の一部だけが沈下すると建物は不揃いに沈下を起こすことになり、結果として建物に傾斜が発生することとなります。

不同沈下が起こってしまった際は、住宅に様々な不具合が出てきます。



住宅建築の第一歩 ～地盤調査の重要性～

住宅などの建物を建築する際には、長期に渡り安全に建っているか（地盤の硬さの確認）、建物が不均等に沈まないか（沈下予測）の調査を行わなければいけません。（→地耐力調査）

そのため、新築建物を建築する際は、その地盤が建物を安全に支えることができるのか？支えることができない場合は、安全に支えられるようにするにはどうすればよいのかを調査することが必要となります。

一般的に住宅の地盤調査は、スウェーデン式サウンディング試験と表面波探査法の2種類が挙げられます。

不同沈下を起こさせないために、しっかりと地盤調査を行い、その結果によって必要な対策を講じる必要が出てきます。



表面波探査試験

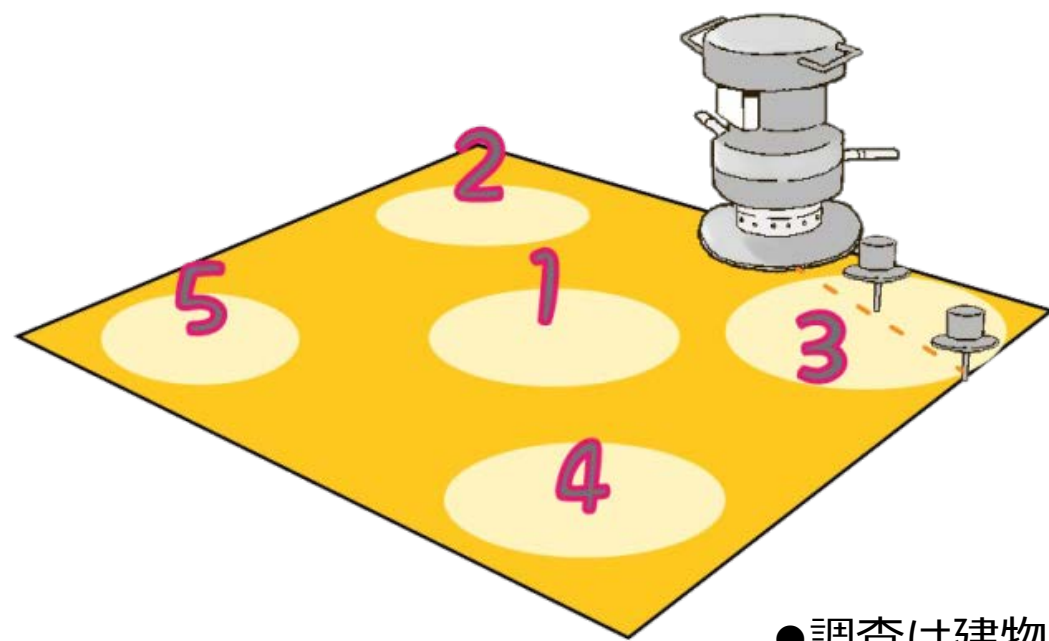
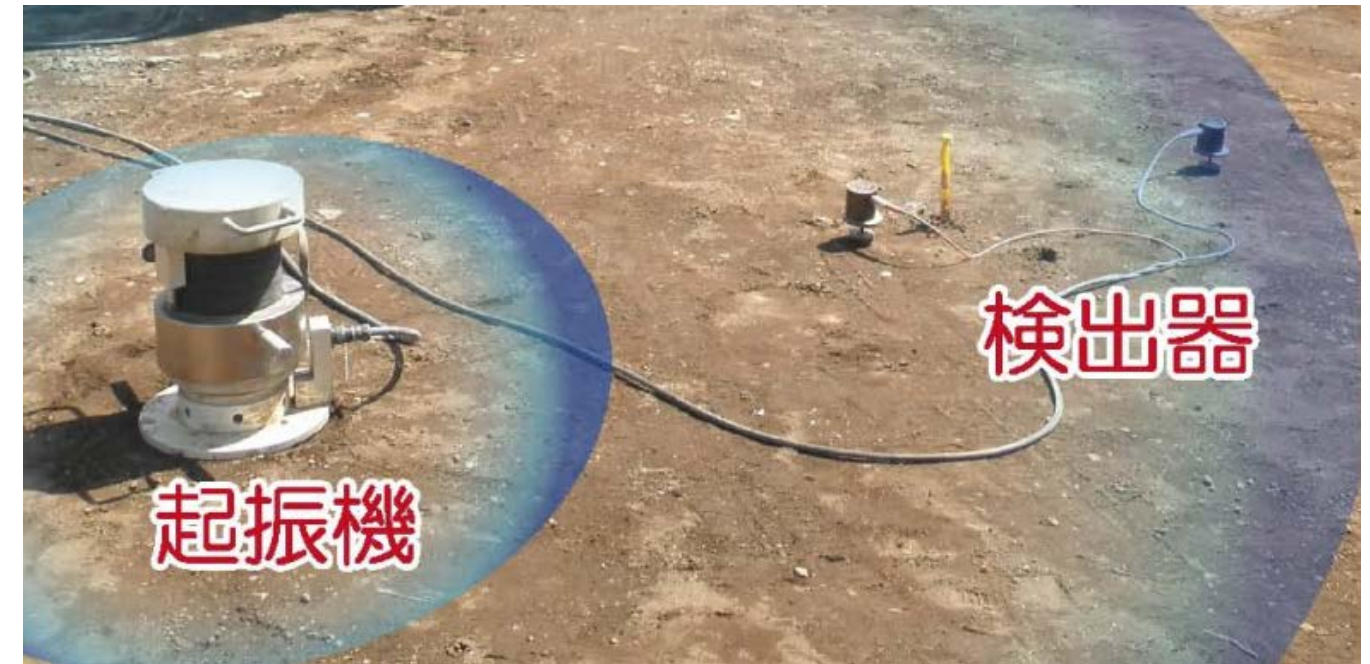


スウェーデン式サウンディング

表面波探査法とは？

表面波探査は、起振機と呼ばれる機械で人工的にごくわずかな地震を起こします。

その際に地盤を伝わる振動を検出器と呼ばれるセンサーでキャッチします。その振動の伝わる速さより、地盤の硬さ・建物建築後の予測沈下量を解析・算出し、地盤が持っている【本当の力】を計測します。



- 調査は建物の四隅と中央にあたる部分、計5測点行います。
- どんな地盤でも深さ10mまで計測します。
- 調査時間は2～3時間かかります。
計測の他に簡易測量、周辺状況の目視チェックを行います。
- アスファルトの上からでも計測は可能です。
- 国交省告示1113号の『6.物理探査』に該当する地盤調査方法で、法規上も問題のない調査方法です。

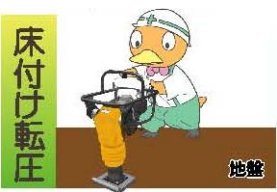
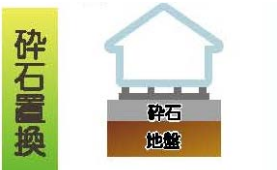
高精度な調査・詳細な報告 ～安全・安価な地盤の提案～

深さは1cm単位、地盤の硬さは1kN/m²、沈下量については1mm単位で報告します。※kN/m²＝硬さの単位
地盤調査専門会社として住まい手の立場に立ち、良好な地盤は尊重し、軟弱な地盤の際には、その地盤に最も合った地盤の対策をご提案します。



表面波探査は「現在の地盤の硬さ＝支持力」だけではなく、建物の重みによって「将来どれくらい地盤が沈下するか＝沈下量予測」も行い、地盤調査データから建築予定建物の不同沈下の可能性の有無を判定します。

提案・報告 地盤に合った無駄のない対策のご提案

対策名称	内容
直接基礎	表層部から深部まで良好な地盤の場合、計画通りの基礎で判定します。
床付け転圧 	基礎を作るために地盤を掘削した際に丁寧に転圧して地盤を締め固める工法です。
砕石置換 	軟弱な土を除去して砕石(=石)を隙間なく敷き詰め、丁寧に転圧して良好な地盤に変化させる方法です。

地盤調査専門会社として住まい手の立場に立ち、良好な地盤は尊重し、軟弱なときはその地盤に最も合った対策をご提案します。無駄な地盤改良工事をなくすことで、地盤にかかるコストを削減し、真に価値ある住宅づくり をサポートします。

かじーの現場 すごろく

通称 かじー（B型）
嫁と現場を愛する36歳

かじーです。
今日は私が行く現場の一日を
皆さんに見て頂きます！

START

AM10:00 現場に到着



予定建物の位置の確認



建物の四隅と真ん中を測るので、
その位置出しを行います。

計測準備の開始



実は重くて50kgもあるんです

次のポイントへ移動



この作業を5箇所で行います。1箇所20分くらいかな

AM11:00 いざ計測へ



おっ！！ここはなかなか良いデータ
が取れてる。なかなかいい地盤だな

突き棒



鉄の棒を挿して実際の土の感触や
異物混入の確認をするんだ。

現場写真撮影



周辺の状況確認

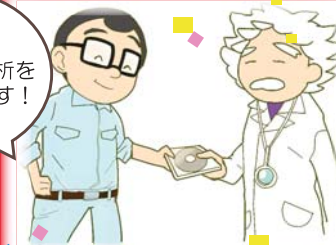


周囲との高低差や
周辺の地盤や建造物に異常が
ないかをチェックします。

清掃作業



博士、
データの解析を
お願いします！



PM1:00 ゴール！！

GOAL

保証期間は長期の 20 年保証

PLUS-L保証内容

保証期間 : 20年間 (建築期間含む)

保証限度額 : 1億円

保証対象 : 建物構造制限なし
延床1000㎡まで
地上4階建て地下1階建て以下

加入条件 : NPO住宅地盤診断センターの会員企業が行う表面波探査による地盤調査



※弊社の取り扱っている地盤保証は役務の保証となり、不同沈下が起きた際の沈下修正等を行うもののため、金額のお支払ではございません。

日本初の地盤保証システムの実績

NPO住宅地盤診断センターで行う地盤保証は、日本初の地盤保証システムとなり、全91社（2020年4月現在）の地盤調査会社（法人会員）で構成されています。たとえ一つの会員企業が倒産したとしても、NPO法人は全体として支障なく運営していくことができます。

※ビック株式会社は、NPO住宅地盤診断センターの幹事会社となります。

地盤保証【PLUS-L】の保証内容

当地盤保証システム『PLUS-L』は、NPO住宅地盤診断センター会員が地盤調査を行い、そのデータ解析に基づいた地盤の対策・基礎工事、または地盤補強工事を実施した建物が対象となります。

地盤保証PLUS-Lは、大手損害保険会社と20年間の一括保険契約を締結し、その期間資力の心配なく地盤保証が行える仕組みを構築しました。物件ごとに地盤保証書とともに大手損害保険会社との保険契約が存在することを証明する「保険契約証明書」を添付致します。

保証期間中に被保証者様（住宅供給業者様）が倒産した場合には、対象物件の供給を被保証者様に発注された方（お施主様）に対して、引き続き保証が引き継がれます。

